



●ボランティアに関する講座や研修①

◆ボランティア入門講座 （詳しくはP71～74）

ボランティア初心者向けの体験活動を伴う全3回連続講座を、5～6月に実施しています。第2回目のボランティア体験では、8か所に分かれて87名が活動しました。



◆海外体験学習プログラム （詳しくはP64～69）



海外でのボランティア等に関心のある本学学生に向けて、貧困・福祉・環境問題など様々な課題を抱える国を訪れ、その現状に触れながら現地のNPO・NGOなどとの交流を通じて体験的に学ぶプログラムを夏期・春期の長期休暇中に実施しています。写真は、夏の海外体験学習プログラムで行ったタイ王国での様子です。

◆国内体験学習プログラム （詳しくはP52～63）

国内の様々な地域の住民、NPO等との交流を通じて、地域の抱える問題に触れると共に、ボランティア等の体験学習を通じてより深く社会の問題について考えるきっかけを作るプログラムを、夏期・春期の長期休暇中に実施しています。



滋賀県近江八幡市のプログラム



福島県のプログラム



●ボランティアに関する講座や研修②

◆オリエンテーション合宿 (詳しくはP78～80)



新しく入った学生スタッフがボランティア・NPO活動センター（以下ボラセン）の目的や学生スタッフの役割を理解し活動できるように、毎年6月ごろに、オリエンテーション合宿を行っています。深草キャンパスで2日間に渡って実施し、新入生と上回生合わせて83名が参加しました。この合宿を年度のスタートとして、気持ちも新たに活動していきます。

◆夏合宿・春合宿 (詳しくはP80～84)



深草キャンパス夏合宿の様子



瀬田キャンパス夏合宿の様子

学生スタッフの成長や資質向上を目的に、深草・瀬田キャンパスのそれぞれで、年2回の長期休みに1泊2日の合宿を行っています。夏合宿では、前期の活動から見てきた課題を取り上げ、さらに後期の活動をより充実させるために話し合います。春合宿では後期の活動および年間の振り返りを行い、新年度の目標をみんなで考えます。（春合宿は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて中止）



●ボランティアに関する講座や研修③

◆ボランティアリーダー養成講座（詳しくはP74～76）

ボランティアやサークル活動などを行っている学生を対象に、スキルアップ講座を年2回実施しています。第1回は「伝える力、巻き込む力を鍛えよう」、第2回は「今日からできる、いいチームづくり ～正しく悩めば面白いチームはできる！～」をテーマに行いました。ワークショップも交えた実践的な講座となりました。



第1回の様子



第2回の様子

◆ボランティアコーディネーション力3級検定（詳しくはP76～77）

ボランティア活動をしている学生や市民活動に関わっている方がこれからの活動にも役立てられる「ボランティアコーディネーション力3級検定」を、特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会と共催し、本学で実施しました。学生、地域の方を合わせて41名の受検者がありました。



◆スタディツアー合同説明会（詳しくはP48～49）



龍谷大学大阪梅田キャンパスにて、スタディツアーを企画している13のNGOが集まり合同説明会を行いました。NGO職員やツアー経験者から直接話が聞ける機会とあって、関西圏から多くの参加がありました。



●近隣地域でのボランティア活動

◆サマーフェスティバル 2019 （詳しくはP 37～38）

深草キャンパス近隣の児童館で、子どもたちに夏休みの一日を楽しく過ごしてもらおうと始まった学生スタッフオリジナルのボランティア企画です。6年目となり、前年度までの反省をふまえて、毎年バージョンアップしています。



◆大津祭ボランティア （詳しくはP 39～40）

今年も30名を超える学生がボランティアとして参加しました。ただ山を曳く、沿道整理をするだけでなく、祭り関係者や他のボランティア参加者、観光客との交流もこのボランティアの魅力の一つです。大津祭を経験せずに大津を離れてしまうのは、もったいないことでしょう。



◆深草ふれあいプラザ（詳しくはP41～42）



深草地域 5 学区の地縁団体や小学校、行政などが協働して実施されている秋の恒例イベントです。このイベントに協力する中で、本学の学生にボランティア活動や地域の方と交流する楽しさを知るきっかけにしてみよう、学生スタッフが学内で参加者を募集し、一緒に活動しました。



◆スペシャルオリンピックスを知ろう！

（詳しくはP42～44）

障がいのある方との相互理解を目的に、スペシャルオリンピックス日本・滋賀のボウリング大会をサポートしました。100名をこえる交流の場となり、初めて参加した学生たちは、学生スタッフとともにゲームを楽しみました。

◆南区民ふれあいまつり（詳しくはP44～45）

京都の東寺境内で行われるまつりの『ちびっこひろば』という子ども向けのコーナーで、遊びのブースを運営する活動です。学生スタッフが工作アイデア等を考え、たくさん子どもたちや家族連れでブースは大賑わいでした。





●学内での啓発活動

◆各センターでのボランティア紹介（詳しくはP19～23）



ボランティアをやりたいと考える学生が、気軽に相談ができるように、そして希望に沿ったボランティアを紹介できるように、学生スタッフは日ごろからさまざまな工夫をしています。団体からのボランティア情報を分野別に整理し、魅力的な広報のあり方について、試行錯誤しています。



◆瀬田龍谷祭（詳しくはP32～33）

『ひろがり』をテーマに、ボラセンの活動紹介、ボランティアの魅力や学びについての展示を行い、2日間で291名の来場者がありました。



◆深草龍谷祭（詳しくはP30～32）

『～学びを発掘！～ボラセンミュージアム』をテーマに、ボラセンの活動紹介、ごみ問題や子ども向け体験コーナーなど、6つのブースを設置し、3日間で520名の来場者がありました。



◆Let's ボランティア (詳しくはP 29~30)

ボラセンの中に入りにくいという学生の声を受けて、食堂前にブースを設け、ボランティアの紹介や、チラシ配布を行いました。夏期休暇中に参加できるボランティアを紹介しました。



◆ボラセンの紹介 (詳しくはP 22)



春の新歓活動では、新入生に対して、ボランティアについて、ボラセンの学生スタッフについて説明しています。また、ゼミなどで、授業中にボラセンへの訪問があるときには、学生目線でボランティアの魅力をわかりやすく伝えています。



◆サークル活動・ボランティア活動 情報交換会 (詳しくはP 35~36)



学内のサークルと情報交換を行う場として、年に5回、ボラセンにて行っています。学内にはボランティア活動を行うさまざまなサークルがあり、活動内容について情報共有をし、サークルのネットワークづくりの一助となっています。





●東日本大震災復興支援活動（詳しくはP6～15）

東日本大震災の発災以降、本学では宮城県石巻市雄勝町で復興支援ボランティア活動を毎年行っています。また、学内でも東日本大震災に関する啓発活動や追悼法要など、復興支援に関する取り組みを実施してきました。2019年度も2回の復興支援ボランティア活動を実施し、いずれも防災学習を受講すると共に、地元の方から震災当時のお話を聴く機会も設けています。また、雄勝ローズファクトリーガーデンのお手伝いも行っています。

◆防災教育：大川小学校を訪ねて



第1回の様子



第2回の様子

◆防災教育：旧雄勝小学校裏山を津波到達点まで登る



第1回の様子



第2回の様子

◆防災教育：南浜つなぐ館とその周辺を訪ねて



第1回の様子



第2回の様子

◆防災教育：女川町で語り部と共にまち歩き(第1回)



シーパルピア女川にてまちづくりの説明を受ける様子



女川町の模型を見ながら説明を受ける様子

◆雄勝湾灯籠流し(中止)準備と雄勝納涼祭(第1回)



灯籠作りの様子



納涼祭の様子

◆雄勝小学校祖父母交流会(ほってえ皿作り)とレクリエーション(第2回)



祖父母交流会でほってえ皿作りをしている様子



子どもたちとレクリエーションの様子

◆雄勝ローズファクトリーガーデンでの活動



草刈りの様子



土入れの様子

◆学内での活動報告会



深草キャンパスでの報告会の様子



瀬田キャンパスでの報告会の様子

◆追悼法要



深草キャンパスの法要で活動報告した
川村さんと松田さん



瀬田キャンパスの法要で活動報告した
朝倉さん